

2. 社会教育主事および社会教育士について

(1) 担当教員からの概要説明

①社会教育主事に期待されている仕事

社会教育主事は、都道府県・市町村などの地方公共団体の教育委員会事務局に置かれる専門的教育職員です。その職務について、「社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える」と規定されています（社会教育法第9条の3）が、近年は、地域における「学びのコーディネーター」として位置付けるという見解が強まっています。

「社会教育主事は…社会教育行政の中核として、地域の社会教育行政の企画・実施及び専門的技術的な助言と指導…を通し、人々の自発的な学習活動を援助する役割を果たしている。今後は、更に『学びのオーガナイザー』としての中心的な役割を担っていくことが求められ、社会教育行政のみならず、地域における多様な主体の地域課題解決の取組においても、コーディネート能力やファシリテート能力等を発揮し、取組全体をけん引する極めて重要な役割を担うことが期待される。」（平成30年12月 中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」）

②社会教育主事としての任用と配置の強化方針

社会教育主事は、法的には、都道府県・市町村に必置となっており、その任用は、教育委員会に社会教育主事補として採用されて、1年以上にわたる社会教育主事補や「社会教育に関係ある職」及び「社会教育に関係のある事業における業務」経験を経て、社会教育主事として任用されることができるとなっています。そして、法律通りに「確実に…配置する」という方針が示されています。

「地方公共団体においては、社会教育主事が社会教育法に規定する必置の職員であることを踏まえ、確実に社会教育主事を配置する。」（同上）

この方針によって、今後、社会教育主事の任用が増えることが予想されます。

③文部科学省令の改正と、地方自治体全部局、地域、NPOや企業でも役立つ「社会教育士」称号の創設

そこで、2018年2月に文部科学省令が改正されて、新しく汎用性の高い「社会教育士」という称号の創設に道が開かれました。すなわち、2020年4月から実施予定の新しい社会主事資格取得制度では、「社会教育主事資格」とともに「社会教育士という称号」の2つが取得できることとなりました。

社会教育士は、その称号を履歴書、名刺等に印刷してよいこととなっており、教育委員会にいてもその他の地方自治体の部局にいても、学校でも、地域・NPOでも、企業でも「社会教育士」として、「学びのコーディネーター」「学びのファシリテーター」としての役割を期待されています。そして中教審答申は、教職課程を履修する学生にも社会教育士の称号取得を奨励すると述べています。

④法政大学における社会教育主事と社会教育士の養成課程

法政大学では、社会教育主事の資格取得のための科目を1964年度より開設していますが、今回の省令改正に伴って、2020年度施行の新制度に沿って、本学でもカリキュラム改訂を行うことを決定しています。

この場合、2019年度からの履修生は、19年度に現行のカリキュラムで履修を行い、2020年度から新たに設置され「生涯学習支援論」「社会教育経営論」「社会教育実習」の3科目を含む科目を履修すると、社会教育主事資格とともに社会教育士の称号を取得できるようになります。

詳しくは、2019年4月以後に新制度への移行期について周知することとなる予定です。

(2) 資格取得について

社会教育主事の資格を得るためには、「大学に2年以上在学して62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で」次の「イからハまでに掲げる期間を通算した期間が1年以上になるもの」「イ 社会教育主事補の職にあった期間 ロ 官公署又は社会教育関係団体における社会教育に関係のある職で文部科学大臣の指定するものにあつた期間 ハ 官公署又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であつて、社会教育主事として必要な知識又は技能の修得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）」であることが必要です。なお、「時代の進展に即応し得る資質・能力を備えた社会教育主事の養成を図る」趣旨から、1987年2月、旧文部省（現文部科学省）が一部改正しました。下記の課程表（表1）に従って科目の修得を進めてください。

なお、2020年度より、課程表が一部修正されますので、注意してください。

(3) 資格取得手続方法

「大学に2年以上在学して62単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で」、希望する者には法政大学が、社会教育主事および社会教育士の資格単位修得証明書を交付します。交付申請方法は他の証明書（卒業証明書等）と同じです。

課 程 表 (2019年度)

(表1)

| 法令上の科目名 | 法令上の単位 | 授 業 科 目 | 備考 | 単位 | 必修選択の別 |
|--------------------------------|---|------------------------------------|---|----|-----------------------|
| 生涯学習概論 | (4) | 生涯学習入門Ⅰ(注1) | | 2 | 必修 |
| | | 生涯学習入門Ⅱ(注1) | | 2 | |
| 社会教育計画 | (4) | 社会教育計画 | | 4 | 必修 |
| 社会教育演習 社会教育実習 又は社会教育課題研究 | (4) | 社会教育演習 | | 4 | 必修 |
| 社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育) | (4) | 現代社会と社会教育Ⅰ (学びの場としての東アジア)※4(注2) | | 2 | 必修 |
| | | 現代社会と社会教育Ⅱ (国際社会とリテラシー)※4(注2) | | 2 | |
| 社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設) | (4) | 図書館・情報学概論(注5) | 2011年度以前入学者のみ。 | 4 | 4単位 以上 選択 必修 |
| | | 図書館情報学概論Ⅰ | 2012年度以降入学者のみ。 | 2 | |
| | | 図書館情報学概論Ⅱ | 2012年度以降入学者のみ。 | 2 | |
| | | 博物館概論(注3) | 2012年度履修者より科目変更。 2011年度以前修得者は「博物館学Ⅰ」(2単位)※1。 | 2 | |
| | | 博物館資料論(注3) | 2012年度履修者より科目変更。 2011年度以前修得者は「博物館学Ⅲ」(2単位)※1。(注4) | 2 | |
| | | 社会教育活動Ⅰ (エスニシティとジェンダー)※4 | | 2 | |
| | | 社会教育活動Ⅱ (成人と高齢者)※4 | | 2 | |
| | | 教育社会学Ⅰ ※3 | | 2 | |
| | | 教育社会学Ⅱ ※3 | | 2 | |
| 博物館情報・メディア論(注3) | 2012年度履修者より科目変更。 2011年度以前修得者は「視覚教育(キャリアデザイン教育論)」(4単位)。 | 2 | | | |
| 社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目) | (4) | 教育原理 ※2 | | 2 | 4単位 以上 選択 必修 |
| | | 教育の制度・経営※2 | | 2 | |
| | | 職業指導(仕事の場と学び) | 2017年度以前入学者のみ | 4 | |
| | | 職業指導(1)※5 | | 2 | |
| | | 職業指導(2)※5 | | 2 | |
| | | 現代生活・文化と社会教育Ⅰ (東アジアと生活)※4 | | 2 | |
| | | 現代生活・文化と社会教育Ⅱ (生物多様性と社会教育)※4 | | 2 | |

※1 1996年度以前に履修した博物館学は使用できません。

2002年度以前に「博物館学Ⅰ」(4単位)を履修済みの方は、「博物館学Ⅰ」と「博物館学Ⅲ」を履修済みとみなします。

※2 2005年度以前に「教育原理」(4単位)を履修済みの方は、「教育原理」(2単位)と「教育の制度・経営」を履修済みとみなします。

2006年度以前に「教育原理Ⅱ」履修済みの方、2007年度に「教育原理Ⅱ(教育の制度・経営)」履修済みの方は、「教育の制度・経営」を履修済みとみなします。

2007年度以前に「教育原理Ⅰ」を履修済みの方は、「教育原理」(2単位)を履修済みとみなします。

※3 キャリアデザイン学部生のみ履修できます。

※4 履修登録画面や「履修登録科目確認通知書」、「成績通知書」等には、かっこ()書きは表示されません。

※5 2014年度以前に修得した場合は使用できません。また、当科科目は2016年度末で廃止となりました。

[キャリアデザイン学部生へ]

(注1) 2012年度以降入学生は名称が異なります。「発達・教育キャリア入門C(生涯学習入門Ⅰ)」、「発達・教育キャリア入門D(生涯学習入門Ⅱ)」を履修してください。

(注2) 2012年度以降入学生は名称が異なります。「生涯学習論Ⅰ(現代社会と社会教育Ⅰ)」、「生涯学習論Ⅱ(現代社会と社会教育Ⅱ)」を履修してください。

(注3) CD学部の専門科目では名称が異なります。「博物館」を「ミュージアム」に置き換えた名称の科目を履修してください。

(注4) 2003～2006年度入学生は、この資格科目「博物館学Ⅲ」はCD学部専門科目「博物館学Ⅱ」です。

(注5) 2007～2011年度入学生は名称が異なります。「図書館情報学Ⅰ・Ⅱ」です。